

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第4回 鈴鹿市立清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年10月23日(水) 15:30 ~ 16:30

2 場 所 清和公民館

3 あいさつ(創徳中学校校長)

4 「スマホって本当に良いもの?」を通して

講師 栄小・創徳中学校学校医 日本小児科医会メディア委員
すずかこどもクリニック 渡辺 正博 Dr

【内容】

- ・日本小児科医会メディア委員会より「子どもとメディア」に関する5つの提言
スマホについて 親向けポスター、児童・生徒向けポスター、幼児(スマホに子守をさせないで)
- ・平日のネット利用時間はここ10年で増加傾向にある。
- ・インターネット依存度テスト結果について
- ・ゲーム依存度テスト結果について
ゲーム依存=病気として認められた
- ・全国学力学習状況調査生徒アンケートより
スマホを持っていない(使用していない)と回答した生徒よりも
30分未満の使用の方が学調は良い結果→使用時間をコントロールできる
- ・スマホを持っていなかった生徒とその後の所持による成績の変化(傾向)
スマホを所持→成績低下
- ・スマホを持っていた生徒とその後の使用による成績の変化(傾向)
スマホ使用をやめた生徒→成績が上がった
スマホ使用を続けていた生徒→成績が下がった
成績が上がったため、使用を再開した生徒→再び成績が下がった
- ・SNSの使用時間と成績(傾向)
2時間勉強しても、使用時間が多いと成績は下がる
- ・平日の睡眠時間について
レム睡眠時に新しい記憶が呼び出され、忘れない記憶として書き入れられる
一夜漬けは失敗 記憶するには睡眠が必要
- ・ながら勉強について

「ながら勉強」で3時間勉強して、偏差値50になるとすると、「ながら勉強なし」30分の勉強で追いつく。

・紙での学習 VS デジタル学習

- わかりやすさ ○
- 記憶 △
- 集中 △
- 目疲れ △

・子どもたちの脳の活動について

例) 自然のホタルを見る → (前頭葉が) しっかり動く
アニメをみる → 動かない → 記憶に残らない

・目の健康への影響について

近視とは眼軸が伸びること。

3D 映像やスマホの影響で急性内斜視になる子が増加

・SNS による犯罪被害について

特別な家庭環境ではない ほとんどが一般的家庭の子が被害者
被害者の低年齢化 H30: 高校生が半数 R4: 小中学生が多数。
自撮り被害

・ネット上だけの交流関係

3割の児童・生徒がネット上だけの知人・友人がいるという
市内でもネットで知り合った相手と実際に会う事例もある

・オンラインゲームに関するネット被害

2022年 約7000件のうち半数が小学生(課金など)

・子どもがスクリーン時間が長い理由 トップ3

- 1 母親のインターネット使用時間が長い
- 2 家庭にルールがない
- 3 父親のインターネット使用時間が長い

・善悪の判断ができない児童の増加

(以上講演内容の抜粋)